

# 「すべてのステークホルダーの満足度(GDH)の増大」を目指して

※GDH=Gross Daido Happiness

平素より大同生命をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

この「大同生命の現状」では、当社の業績や取組みについて紹介しております。本誌を通じて当社に対するご理解を一層深めていただけましたら幸いです。

平成28年度の日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、個人消費が底堅く推移したほか、企業収益も高水準で推移するなど、各種経済対策および金融政策の効果を背景に、景気は緩やかな回復基調が続きました。

このような情勢のなか、平成28年度決算では、おかげさまで順調に業績を伸展させることができ

ました。個人保険・個人年金の新契約高<sup>※</sup>は、前年比119%の5兆1,211億円と大きく伸展したほか、保有契約高<sup>※</sup>は前年比105%の40兆9,922億円と過去最高となりました。また、当期純利益は431億円(前年比79%)と前年に比べ減少したものの、計画していた水準を確保することができました。さらに、保険会社の健全性を示す指標の一つであるソルベンシー・マージン比率は1,252%(前年度末1,341%)と、引き続き高い水準を維持しております。

生命保険業界におきましては、今後も少子高齢化の進展、お客さまニーズや販売チャネルの多様化等により、競争はますます激しくなることが予想されます。また、日本銀行の量的・質的金融緩和政策等により低金利環境が継続するなか、生命保険会社の

## 大同生命の企業理念

### 〈社是〉

加入者本位・堅実経営

### 〈経営ビジョン〉

私たちは、次の5つの観点から、「すべてのステークホルダーの満足度(GDH)の増大」を追求していきます。

※GDH=Gross Daido Happiness

1. 中小企業のお客さまに「最高の安心」と「最大の満足」をお届けする生命保険会社を目指します。
2. コアビジネスの発展と新たな価値の創造を通じて、企業価値の安定的・持続的な向上を目指します。
3. 提携先や代理店をはじめとするパートナーとの共存共栄を目指します。
4. チャレンジ精神を大切にし、すべての従業員がやりがいをもって働ける企業を目指します。
5. 公正・誠実な企業活動と地域への貢献を通じて、社会から信認される企業を目指します。

### 〈使命〉

中小企業とそこで働くすべての方を様々なリスクからお守りする

※新契約高、保有契約高は、「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額、「Tタイプ(無配当就業障がい保障保険)」の就業障がい保険金額および「介護リリーフ(無配当終身介護保障保険)」の介護保険金額を加算した金額です。

商品戦略や資産運用戦略はさらなる創意工夫が必要となっております。加えて、従来以上にお客さまのご意向や利益を重視した業務運営の追求により、質の高い商品・サービスをご提供することで、お客さまのご負託にお応えしていく必要があります。

こうした状況を踏まえ、現在の中期経営計画（平成28～30年度計画）では、今後10年間で想定される環境変化を見据えたうえで、「新たな価値の創造」により成長を加速させ、中小企業市場における生命保険事業の“リーディングカンパニー”としての地位をより確固たるものとする」という全体方針に基づき、次の施策に重点的に取り組んでおります。

### ①中小企業を取り巻く環境変化を踏まえた商品・サービスの提供

当社は、昭和40年代から半世紀近くにおたり、低廉な保険料でより大きな保障が確保できる定期保険を、中小企業団体の福利厚生制度として、営業職員と代理店の両チャンネルを通じて推進するという、独自のビジネスモデルにより発展してまいりました。

一方、近年では、人口減少や少子高齢化の進展に伴い、中小企業では後継者難や人手不足等による経営者の高齢化・在任期間の長期化が進行しております。このような環境変化のなか、多様化する中小企業のニーズにお応えするため、主力の定期保険に加え、就業不能保障の充実による“トータルな保障”のご提案を一層進めることで、「コアマーケットのさらなる深耕」に取り組んでおります。

大同生命保険株式会社  
代表取締役社長

工藤 稔



## Top Message

さらに、人口減少が進むなかでも、シニア層は拡大が見込まれるマーケットであり、「介護」「相続・事業承継」など、経営者や個人事業主のみなさまのさまざまなニーズにお応えする商品・サービスの提供を通じ、「新たなマーケットの創出・拡大」に取り組んでおります。

加えて、「健康寿命の延伸」が社会的課題となるなか、企業においても、従業員の労働生産性の維持・向上に向けた健康増進の重要性が高まっています。そこで当社では、中小企業における「健康経営」の普及推進活動を「DAIDO KENCOアクション」と称し、「健康経営」の理念の啓発活動や、「健康経営」の実践ツールである大同生命「KENCO SUPPORT PROGRAM」の提供を通じて、中小企業の健康増進を支援しております。今後は、「トータルな保障のご提案」に「健康増進・疾病予防」を加えた“保険のご提案活動の革新”に取り組むことで、中小企業の持続的発展に一層貢献してまいります。

### ②お客さまサービスのさらなる向上

次に、お客さまサービス面では、募集活動からお支払いまで、お客さまと関わるすべてのプロセスにおきまして、人工知能やビッグデータをはじめとする新たなIT技術を活用した業務革新に取り組むことで、より高品質で効率的なお客さまサービスの提供態勢を構築してまいります。また、高齢化社会に向けた対応として、わかりやすく利便性の高いサービスを提供する「ベストシニアサービス」に一層取り組んでまいります。

### ③資産運用の収益性向上

資産運用面では、収益・リスク・資本を一体的に管理する経営管理態勢(ERM)のもと、資産運用収益の向上と安定的な確保を目指しております。また、低金利環境が継続するなかでも、外貨建債券への投資やインフラ等の「成長分野」への投融資などを通じ、収益源泉の多様化と資産運用の高度化に取り組んでおります。



### ④人材力の向上

最後に、人材育成面では、従業員一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる機会を提供するとともに、多様な人材の活躍を推進することで、“新たな価値の創造”を支える人材の育成を強化してまいります。また、従業員の働きがいや生産性をさらに高めるため、ペーパーレスや新たなITを活用した「働き方の変革」を推進してまいります。

当社は、創業者の一人である明治の女性実業家「広岡浅子」の精神を受け継ぎ、「中小企業市場への特化戦略」や「国内生保初となる株式会社化の実現」など、時代の変化にあわせ前例のないことにも果敢に挑戦してまいりました。

これからも、経営基盤の一層の強化等を通じて、37万社にのぼるご契約企業をはじめとするみなさまのご負託にしっかりとお応えするとともに、「加入者本位」「堅実経営」という創業時から受け継ぐ企業理念を大切に、お客さまのご意向や利益をより重視した業務運営を実践することで「すべてのステークホルダーの満足度(GDH)の増大」を実現できる会社であり続けられるよう、全役職員が一丸となって一層努力してまいります。

今後とも、何とぞご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年7月

代表取締役社長

工藤 稔